

# 麻酔科

## 1. 救急部門研修時(初期研修時)

### ■一般目標 GIO

麻酔科医の役割を理解し、それに従い麻酔導入時の基本的手技ができる。  
集中治療室入院の患者の病態を理解する。

### ■行動目標 SBO

- ① 麻酔科医の役割について理解する。
- ② マスク換気ができる。
- ③ 気管挿管ができる。
- ④ 集中治療室(ICU)入院患者のプレゼンテーションができる。

### ■学習方略 Learning strategy

LS1: On the job training(SBO ①~③)

- ・ 全身麻酔患者の導入の際、指導医のもとで、麻酔導入時マスク換気、気管挿管を行う、必要時、胃管カテーテルを挿入する。

LS2: 症例プレゼンテーション(SBO ④)

- ・ 集中治療室の週1回の回診時、集中治療室入院患者のプレゼンテーションを行い、患者の病態理解・治療方針を深める。

## 2. 選択期間における到達目標

### 選択1ヶ月の場合

### ■一般目標 GIO

- 1) 麻酔科診療のため必要な知識を理解し、基本手技を習得する。
- 2) 具体的な麻酔方法を理解し、全静脈麻酔法・吸入麻酔法を身につける。その他、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔について理解する。
- 3) 麻酔基本手技を習得する。

### ■行動目標 SBO

- 1) 麻酔科診療のため必要な知識を理解し、基本手技を習得する。
  - ① 麻酔科医の役割について理解する。
  - ② 手術室・中央材料部の役割について理解する。
  - ③ 麻酔科関連領域の看護師、臨床工学技士、薬剤師などの役割を認識し協力して医療がおこなえる。
  - ④ 全身麻酔による全身状態への影響について理解する。
  - ⑤ 手術患者の術前評価・術前診察ができ、術前指示が出せる。
  - ⑥ 手術患者・家族への十分な麻酔の説明ができる。
  - ⑦ 術前情報・術式に応じて麻酔計画を立てることができる。
  - ⑧ 麻酔計画に則り、麻酔準備ができる。
  - ⑨ 麻酔計画に従い、麻酔が実行できる。
  - ⑩ 麻酔記録の記載、麻酔請求チェックができる。

- ⑪ 手術での合併症を理解し、緊急時への対応が十分できる。
  - ⑫ 術後鎮痛法・疼痛管理の基本原則・方法について理解し、実行できる。
  - ⑬ 術後のさまざまな問題点を把握・対応ができる。術後指示が症例に応じて出せる。
  - ⑭ 麻酔器・患者モニターについて理解し、麻酔器・患者モニターが使用できる。
  - ⑮ 麻酔手技(マスク換気、気管内挿管など)のさらなる向上をめざす。
  - ⑯ 術前情報・術式から麻酔に関する問題点を把握し、麻酔計画を立てることができる。
  - ⑰ 術後疼痛管理など術後状態を理解し、患者管理ができる。
  - ⑱ 術後合併症(悪心・嘔吐、疼痛、不穏、呼吸困難など)について原因を追究・対応できる。
- 2) 具体的な麻酔方法を理解し、全静脈麻酔法・吸入麻酔法を身につける。その他、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔について理解する。
- ① 静脈麻酔薬あるいは吸入麻酔薬の種類・性質・副作用・作用機序・使用方法などについて理解する。
  - ② 静脈麻酔薬あるいは吸入麻酔薬による全身麻酔が行える。
  - ③ 筋弛緩薬の種類・性質・作用機序・使用方法などについて理解し、使用できる。
  - ④ 麻酔導入方法・種類を理解し、実行できる。
  - ⑤ 脊髄くも膜下麻酔の方法・合併症などについて理解する。
  - ⑥ 脊髄くも膜下麻酔に使用する薬剤の種類・性質・作用機序・使用方法などについて理解する。
  - ⑦ 硬膜外麻酔の方法・合併症などについて理解し、硬膜外への薬剤投与ができる。
  - ⑧ 循環作動薬・麻薬・局所麻酔薬など麻酔中使用する薬剤の種類・性質・作用機序・使用方法などについて理解し、使用できる。
  - ⑨ 輸液・輸血の必要性理解し、麻酔症例に応じて術中輸液管理ができる。
- 3) 麻酔基本手技を習得する。
- ① マスク換気ができる。
  - ② 気管挿管ができる。
  - ③ ラリゲルマスクの挿入ができる。
  - ④ 気管内チューブの抜管ができる。
  - ⑤ ラリゲルマスクの抜去ができる。

## ■学習方略 Learning strategy

1)

LS1: On the job training (SBO ①~⑱)

指導医のもとで、担当する麻酔患者の術前から術後までを管理・観察する。

LS2: 症例プレゼンテーション (SBO ④~⑧)

朝のミーティングにおいて、担当する患者の麻酔について、問題点をプレゼンテーションする。

LS3: 症例報告・文献検索 (SBO ⑪~⑱)

問題点のあった症例について文献検索を行うとともに、指導医のもと重要な症例は症例報告を行う。

2)

LS1: On the job training (SBO ①~⑨)

指導医のもとで、担当する麻酔患者の術前から術後までを管理・観察する。

LS2: 症例プレゼンテーション (SBO ①~⑨)

朝のミーティングにおいて、担当する患者の麻酔について、問題点をプレゼンテーションする。

LS3: 勉強会・文献検索 (SBO ①~⑨)

勉強会・文献検索を通して、麻酔薬などについて理解する。

3)

LS1: On the job training (SBO ①~⑥)

指導医のもとで、担当する麻酔患者に対し麻酔の基本的な手技を行う。

### 選択2ヶ月以上の場合

#### ■一般目標 GIO

- 1) 麻酔科診療のため必要な知識を理解し、基本手技を習得する。
- 2) 人工呼吸の基礎的知識を理解し、適切な人工呼吸管理を身につける。
- 3) 疼痛管理の基礎的知識を理解し、適切な疼痛管理を身につける。

#### ■行動目標 SBO

- 1) 麻酔科診療のため必要な知識を理解し、基本手技を習得する。
  - ① さまざまな緊急手術麻酔へ対応ができる。
  - ② 小児麻酔について理解し、実行ができる。
  - ③ 脊髄くも膜下麻酔ができるようになる。
  - ④ 硬膜外カテーテルが挿入できる。
  - ⑤ 観血的動脈圧ラインが確保できる。
- 2) 人工呼吸の基礎的知識を理解し、適切な人工呼吸管理を身につける。
  - ① 人工呼吸器を理解して問題なく使用できる。
  - ② 患者の状態に応じ、人工呼吸管理が行える。
  - ③ 人工呼吸からのウイニング方法を理解する。
- 3) 疼痛管理の基礎的知識を理解し、適切な疼痛管理を身につける。
  - ① 各診療科からの疼痛依頼に対し、適切な対応ができる。
  - ② 硬膜外カテーテル挿入による疼痛管理ができる。

#### ■学習方略 Learning strategy

1)

LS1: On the job training (SBO ①~⑤)

指導医のもとで、担当する麻酔患者の術前から術後までを管理・観察する。

LS2: 症例プレゼンテーション (SBO ①~⑤)

朝のミーティングにおいて、担当する患者の麻酔について、問題点をプレゼンテーションする。

LS3: 症例報告・文献検索 (SBO ①~⑤)

問題点のあった症例について文献検索を行うとともに、指導医のもと重要な症例は症例報告を行う。

2)

LS1: On the job training (SBO ①~③)

指導医のもとで、ICUの人工呼吸器患者の人工呼吸管理を勉強する。

LS2: 症例報告・文献検索 (SBO ①~③)

問題点のあった症例について文献検索を行うとともに、指導医のもと重要な症例は症例報告を行う。

3)

LS1: On the job training (SBO ①~③)

指導医のもとで、疼痛管理を勉強する。

LS2: 症例報告・文献検索 (SBO ①～③)

問題点のあった症例について文献検索を行うとともに、指導医のもと重要な症例は症例報告を行う。

#### ■評価 Evaluation

- ① 麻酔時の技術を指導医が評価する。
- ② 麻酔時、麻酔後の指導医との質疑により、麻酔への理解を評価する。
- ③ 麻酔研修の終了時 研修責任者の面談を行い、評価のフィードバックを行う。
- ④ 総括的評価 コメディカルによる評価は、EPOC 及び研修管理委員会から各研修医にフィードバックされる。

#### ■週間スケジュール

月曜日から金曜日まで 終日麻酔担当

毎日 午前8時30分からミーティング(麻酔症例の問題点検討)

毎日 午前9時45分から 呼吸サポートチーム回診(麻酔を行っていない場合)

毎週水曜日 午後2時30分から ICU 回診(麻酔を行っていない場合)

毎週水曜日 午後3時から緩和ケアチーム回診(麻酔を行っていない場合)

不定期 症例検討、抄読会